

くまっこ

豊中市立熊野田小学校

令和8年(2026年)6月30日

学校便り 7月号



一致団結でつかんだ最高の瞬間 ～ 心に残る運動会 ～

当日は天候にも恵まれ、強い日差しはありましたが湿度が低く、木陰では爽やかさも感じられる運動会日和となりました。無事に開催できたことを大変うれしく思います。

今年度のスローガンは「一致団結～仲間とつかむ最高の瞬間～」。開会式で子どもたちに、「大切なのは自分なりに挑戦すること」「あきらめないこと」「仲間を応援し、力を合わせること」と伝えました。

子どもたちはその思いをしっかり受け止め、競技や演技に全力で取り組みました。得意なことに力いっぱい挑む姿もあれば、苦手なことにも一歩踏み出して挑戦する姿、そして仲間へ声援を送り支え合う姿が随所に見られ、胸が熱くなる場面が数多くありました。

今年の勝敗は赤組の優勝となりましたが、勝ち負け以上に、仲間とともにやり遂げた一つ一つの瞬間こそが、子どもたちにとってかけがえのない財産となったことと思います。

また、保護者の皆様、来賓の皆様には、温かい拍手や大きな声援をいただき、子どもたちの大きな励みとなりました。心より感謝申し上げます。さらに、PTAの皆様やお助けスタッフの皆様には、受付や会場整理、後片付け等にご協力いただき、円滑な運営を支えていただきましたことに、重ねて御礼申し上げます。

運動会という大きな行事をやり遂げたことで、子どもたちは達成感と自信を得て、ひと回りたくましく成長したように感じます。これからの学校生活においても、この経験を糧に、それぞれがさらに力を伸ばしていくことを期待しています。今後とも、子どもたちの挑戦と成長を温かく見守り、励ましていただきますようお願い申し上げます。

6年



5年



4年



3年



2年



1年





笑顔あふれる地域の体育祭

今年度の地域の体育祭には、本校から例年以上に多くの教職員が参加させていただきました。競技前の整列のお手伝いをはじめ、先生たち自身が地域の皆様や子どもたちと一緒に競技に参加するなど、学校の運動会とはまた違った魅力と楽しさを味わう貴重な機会となりました。

普段とは異なる環境の中で、子どもたちが地域の方々や先生と笑顔で交流しながらいきいきと活動する様子が大変印象的でした。参加した子どもたちは、楽しさと喜びにあふれた表情を見せ、地域とのつながりの大切さを改めて感じているようでした。こうした地域行事を通して、子どもたちが安心して成長できる温かな環境が整えられていることに深く感謝いたします。今後も学校と地域が連携しながら、子どもたちの健やかな成長を見守っていききたいと思います。



健康な歯は一生の宝 ～正しい歯みがきで健康づくり～

歯科衛生士を目指す学生の皆さんによる歯みがき指導を行いました。子どもたちは、虫歯ができる仕組みや歯垢(プラーク)の特徴、正しい歯ブラシの使い方などについて、学年に応じたクイズや実演を交えながら楽しく学び、歯と口の健康の大切さを実感していました。

毎日の歯みがきは、自分の健康を守るための大切な習慣です。一人ひとりが自分の体を大切に、健康的な生活を送ることができるよう、学校でも継続して指導してまいります。ご家庭でも、お子様の歯みがき習慣について話題にいただければ幸いです。



地域とともに育つ子どもたち



～温かな見守りに支えられて～

本年度も、地域連携ステーションの取組みを通して、多くの地域の皆様にご協力をいただきながら教育活動を進めております。1学期は、1年生の給食サポートや校内の花壇へのお花植え、登下校の見守りなど、子どもたちの学校生活を支えるさまざまな活動が行われました。特に、給食サポートでは、1年生が安心して給食の準備ができるよう、温かく寄り添っていただきました。また、日頃より登下校の安全を見守ってくださっている地域の方々を、全校朝会でご紹介しました。子どもたちにとって、地域の皆様の存在は大きな安心につながっています。

そのほかにも、読み聞かせボランティアの方々による活動は、子どもたちが本の世界に親しみ、想像力を広げる貴重な機会となっています。教室に響くやさしい語りかけに、子どもたちは目を輝かせて耳を傾けています。

給食準備のサポート



登下校の見守り隊



花壇の花植え



絵本の読み聞かせ





ネットのプロから学ぶ! 『安全なスマホ・SNSの使い方』

土曜参観当日は、雨の中ではありませんでしたが、授業参観に加え、SNS講演会、お迎え訓練と、盛りだくさんの内容で実施しました。SNS講演会では、警察のアドバイザーとしても活躍されている篠原先生をお招きし、ネットやSNSに潜む危険性や正しい使い方について、くまもことともに保護者の皆様にもお話を聞いていただきました。

今年度は多くの保護者の方にご参加いただき、「聞いてよかった!!」「知らなかったことばかりで驚いた!!」などの感想をいただき、有意義な時間となりました。

現在、海外では脳の成長への影響を懸念し、16歳未満のSNS利用を厳しく制限する動きが広がっています。日本においても決して他人事ではありません。子どもたちがトラブルに巻き込まれず、毎日安心して過ごすために、ご家庭でも以下のポイントについてぜひ一緒にご確認ください。

知っておきたい! SNS やアプリの最新リスク

- ・「写真の投稿・送信」は慎重に!
友達を勝手に写した写真や、位置情報が分かる場所(マンションの前など)での投稿は、トラブルやストーカー被害に直結します。
また、「衣服を脱いだ姿」の自撮りや送信は、冗談であっても新しい法律で厳しく処罰され、保護者の責任が問われる大変危険な行為です。
- ・年齢制限やアプリの危険性を理解する。
- ・Discord・BeReal・Instagram: トラブル多発のため、利用年齢が引き上げられています。インスタの機能が意図せずカメラが起動し、プライベートな写真が流出する事例も起きています。(※設定の「コンテンツの非表示」をオンにすることで対策が可能です)
- ・Simeji などキーボードアプリ: 入力した文字(パスワードや個人情報)が外部のサーバーに転送されるリスクがあるため、慎重な管理が必要です。
- ・ロブロックスなどオンラインゲーム: 高額課金のトラブルが急増しています。保護者の方が必ず年齢制限や課金ロックの設定を行ってください。



チャット GPT(AI)や動画との付き合い方

- ・AIに「悩み事」や「個人情報」を話さない: チャットGPTなどの無料AIに入力した内容は、世界中で共有されてしまいます。また、AIの言葉に頼りすぎると、自分で考える力や友達と話し合う力が育たなくなってしまいます。
- ・ショート動画の「見すぎ」に注意: YouTubeなどのショート動画をダラダラと見続ける強い刺激は、脳の集中力を低下させ、イライラや不安を引き起こす原因になります。動画やスマホの使用は「20分に1回休憩する」など、時間をコントロールする習慣が大切です。

【学校から保護者の皆様へお願い】

- ・大人が使っているスマホのパスワードを子どもが解読し、勝手にアプリを操作してしまうケースが増えています。スマホはテレビの横など「家族の目の届く場所」で充電し、利用ルールをご家族でしっかりと話し合ってみてください。
- ・ネットの世界だけに頼るのではなく、リアルな学校生活や家族との会話、そして自分の「推し(大好きなもの)」を見つけて、心豊かな毎日を送りましょう!



水泳指導がはじまりました

6月に入り、子どもたちが楽しみにしていた水泳指導が始まりました。

まだ水温は少し低めでしたが、水の心地よさを感じながら、元気に入水することができました。プールから上がると「ちょっと寒いなあ」と話す姿も見られ、夏の訪れを心待ちにしている様子でした。また、1年生は水泳指導に先立ち、生活科の学習で水あそびを体験しました。水に触れたり、道具を使って遊んだりする中で、水に親しみながら楽しく活動することができました。こうした経験を生かして、これからの水泳学習にも安心して取り組んでほしいと思います。



上級生がやさしくサポート ~リコーダー指導(5年が3年に)~

音楽の学習では、5年生が3年生のリコーダーの学習を手伝う場面がありました。3年生にとっては初めて手にするリコーダーですが、5年生はこれまでの自分たちの経験を生かしながら、持ち方や指使い、息の入れ方、音の出し方などをていねいに伝えていました。やさしく声をかけながら教える5年生の姿と、それに応えようと一生けん命取り組む3年生の姿が見られ、学年をこえたあたたかな交流の時間となりました。

これからも、このような関わりの中で、互いに学び合う機会を大切にしていきたいと思います。





不審者対応の防犯訓練

不審者対応の防犯訓練を実施しました。児童は緊張感をもって真剣に取り組み、迅速に教室を施錠して身を隠すなど、本番さながらの行動が見られました。不審者役の教員および対応に当たった教員も、子どもたちへの配慮から大声は出さずに迫真の演技を行い、不審者との距離の取り方などの難しさを実感する訓練となりました。

放課後には教員のみで動画を用いた検証を行い、警察の方から講評や改善点についてご指導をいただきました。今後も安全意識の向上に努めてまいります。

なお、保護者の皆様におかれましては、来校の際には『保護者証』を必ず着用していただきますようお願いいたします。



南極・昭和基地とつながるオンライン授業(6年生)

6年生は、南極・昭和基地と全国の小学校を結ぶオンライン授業に参加しました。授業では、南極に滞在している南極地域観測隊の皆さんとリアルタイムで中継を行い、貴重なお話を聞くことができました。

現在、昭和基地では29名の隊員が越冬しており、気温がマイナス30度近くまで下がる厳しい環境の中で生活されています。当日はマイナス12度で、「まだ暖かい日」とのことでした。子どもたちは、その過酷な自然環境に驚きながらも、興味津々の様子でした。

授業はクイズ形式で進められ、観測隊には大工さんや電気技師、医師など、さまざまな職種の方がいることを学びました。また、食料品は年に1回だけ日本から運ばれることや、隊員自らが基地内の設備を管理・維持していることなども紹介されました。

さらに、医務室や食堂など基地内の様子を映像で案内していただき、水耕栽培によって野菜を育てる取り組みについても知ることができました。南極という特別な場所での生活の工夫や努力に、子どもたちは感心しながら学びを深めていました。今回の授業を通して、子どもたちは遠く離れた南極で働く人々の姿に触れ、科学や環境への関心を高めるとともに、さまざまな仕事や生き方について考える貴重な機会となりました。



防犯教室を行いました(1年生)

1年生を対象に、大阪府警のスクールサポーターの方をお迎えし、防犯について学ぶ教室を行いました。はじめに、子どもたちは自分の身を守るための「5つのやくそく」を覚えていただきました。

「5つのやくそく」

- ① 一人で遊ばない
- ② 知らない人についていかない
- ③ 連れて行かれそうになったら大きな声で知らせる
- ④ 出かけるときは「だれと」「どこで」「いつ帰る」を家の人に伝える
- ⑤ 友達が連れて行かれそうになったら、すぐに大人に知らせる



また、「不審な人とはどのような人か」「どんな場所が危ないのか」「もしもの時にはどこに逃げればよいのか」といったことについても、具体的に教えていただきました。さらに、防犯ブザーの正しい使い方について実際に確認し、いざというときに行動できるよう学びました。

子どもたちは真剣に話を聞き、たくさん大切なことを学ぶことができました。今回学んだことを、日々の生活の中でしっかりと実践して行ってほしいと思います。

ご家庭におかれましては、登下校時や放課後の過ごし方について、お子様と一緒に確認していただきますようお願いいたします。